

3. タイキキララの23年産

牡

父：リオンディーズ	母の父：キングヘイロー
2023年5月5日生(黒鹿毛)	栗東・高野友和厩舎 入厩予定
生産：(有)ビクトリーホースランチ	繋養牧場：(有)ビクトリーホースランチ
全400口 総額3,500万円／一口出資金87,500円／月々の維持費 1,750円／一口	



リオンディーズ 黒鹿毛 2013年	キングカメハメハ 鹿毛 2001年	Kingmambo(USA)
		マンファス(IRE)
シーザリオ 青毛 2002年		スペシャルウィーク
		キロフプリミエール(GB)
タイキキララ 鹿毛 2010年	キングヘイロー 鹿毛 1995年	ダンシングブレーヴ(USA)
		グッバイヘイロー(USA)
	タイキステラ(USA) 鹿毛 1997年	Miswaki(USA)
		ロイヤルブライド(USA)

Mr. Prospector:S4×M4 Halo:M4×S5 Northern Dancer:S5×M5

Family Line

母 タイキキララ

出走、本馬は第8仔
フェリーチェ：2勝
タイキルークス：2勝
タイキバルドル：1勝、現役
タイキヴァンクール：2勝、現役

祖母 タイキステラ(USA)

6勝
[孫]ゲンパチルシファー：5勝、現役 プロキオンS(G3)

曾祖母 ロイヤルブライド(USA)

不出走
タイキエルドラド：5勝 アルゼンチン共和国杯(JPN2)、
目黒記念(JPN2)2着、種牡馬
タイキトレジャー：8勝 函館スプリントS(JPN3)、種牡馬
マイルCS(JPN1)3着

4代母 ロイコン(GB)

英愛2勝
キングズリヴァー：英愛米13勝 グレンカーンS(G3)
[孫]シンコウラブリイ：10勝 マイルCS(JPN1)
ハッピーパス：5勝 京都牝馬S(JPN3)
タイキマーシャル：8勝 エプソムC(JPN3)
[曾孫]チェッキーノ：3勝 フローラS(G2)

Broodmare Sire

母の父 キングヘイロー

1995年生 鹿毛 新冠産
【競走成績】
27戦6勝
高松宮記念(G1)、中山記念(G2)、皐月賞(G1)2着

【母の父として】
イクイノックス：ジャパンC(G1)
ピクシーナイト：スプリンターズS(G1)
キングズソード：JBCクラシック(JPN1)
ディーブボンド：阪神大賞典(G2)

Trainer 高野友和 調教師(栗東)

1976年2月4日生 福島県出身
2010年免許取得 JRA通算382勝 ※成績は2024年6月30日現在

【主な管理馬】
ジャンタルマンタル：NHKマイルC(G1)
ナミュール：マイルCS(G1)
スタンングローズ：秋華賞(G1)

Sire

父 リオンディーズ

2013年生 黒鹿毛 安平産
【競走成績】
国内：5戦2勝
朝日杯FS(G1)、弥生賞(G2)2着、
皐月賞(G1)5着、日本ダービー(G1)5着

【直近3年の種付頭数】
2021年149頭、2022年143頭、2023年78頭

【代表産駒】
テオーロイヤル：天皇賞・春(G1)
リプレーザ：兵庫CS(JPN2)
インダストリア：ダービー卿ChT(G3)



©株式会社 サラブレッド・ブリーダーズ・クラブ

(有)大樹ファーム 荻野豊代表のコメント

一目見てその素質を感じさせる流麗な立ち姿はタイキキララの23年産。兄タイキヴァンクールが朝日杯フューチュリティステークスに出走し、注目度も一入の1頭かと思います。リオンディーズを父に迎え、父によく似た首差しと母の産駒らしいメリハリの利いた馬体、両親の良いところをしっかり受け継いでくれているようです。好奇心旺盛で愛嬌があり、生産でも育成でも可愛がられて育ってきました。厩舎に入ってもアイドルとして可愛がられる事でしょう。放牧地ではいつも誰かを遊びに誘い、1日中走り回っているような底なしの体力の持ち主でした。活躍の舞台については、父の代表産駒であるテオーロイヤル号のようにはいかずとも、2000mくらいはこなしてほしい気持ちはありますが、母の産駒なので1600mまでになってくるでしょうね。兄姉以上の活躍が期待できる素質馬ですよ。